



弥生っ子

学校だより 第11号

令和8年2月27日
千葉市立弥生小学校

「ありがとう6年生・バトンタッチ」

校長 高山 邦美

「6年生を送る会」には、学校評議員の皆様をはじめ、セーフティウォッチャー、図書ボランティア、飼育ボランティアの皆様、保護者の皆様にご出席いただき、ありがとうございました。どの学年も6年生への感謝の気持ちをしっかりと届ける、温かい会となりました。

1・2年生はダンス「ダンスホール」と歌を披露し、3・4年生は、弥生の森「モチモチの木」の劇を通して感謝を伝え、最後にリコーダーと歌のプレゼントを行いました。5年生は会全体の運営を担い、6年生クイズや「思い出のアルバム」を作成して盛り上げました。

卒業を迎える6年生は、この6年間を振り返る劇を披露し、在校生へ感謝の言葉を伝えるとともに、心を込めて歌を届けました。全校で歌った「ありがとうの花」では、一人一人の「ありがとう」の気持ちを歌声にのせて、6年生に伝えることができました。

会の最後には、6年生から5年生へ、なかよし活動の旗を引き継ぐ場面がありました。「これからの弥生小学校をよろしくお願いします」という言葉を受け、5年生はその旗を力強く受け取りました。会全体を企画運営した5年生の姿は、とても頼もしいものでした。

全校児童で作ったプレゼントを手に笑顔を見せていた6年生に、あらためて感謝するとともに、この会を通して弥生小学校の歴史と伝統が、しっかりと次へつながっていくことを感じました。

3月17日（火）には、令和7年度卒業証書授与式が挙行されます。弥生小学校の歴史を守り、力強く推進してくれた6年生。誇りと自信を胸に、夢と希望をもって、巣立って行ってほしいと思います。

在校生は、これまで使ってきた教室・ロッカー・下駄箱を感謝の気持ち込めて清掃し、次の学年へと引き継ぎます。進級に向けて、1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。

ありがとうの花

ありがとうっていったら みんながわらってる
そのかおがうれしくて なんでもありがとう
まちじゅうにさいている ありがとうの花
かぜにふかれ あしたに とんでいく

ありがとうの花がさくよ きみのまちにも
ホラ いつか ありがとうの花がさくよ
みんながわらってるよ

作詞・作曲 坂田 おさむ



第2回「学校評議員会」から

学校評議員の皆様「6年生を送る会」を見ていただきました。その後、学校の様子や学校運営について話し合い、次のようなご意見をいただきました。

- 子供たちが思いやりの心をもって発表しており、2学年ずつの発表は迫力があってよかった。短い準備期間での努力が伝わり、とても温かい会であり、伝統が引き継がれていると感じた。
- 昔遊びやミシンお手伝いなどで学校に携わる機会があり、子供たちからの御礼の手紙がとても嬉しく、今も大切にしている。子供たちと関わることが楽しみである。
- 行事ごとに重点を明確にし、力を入れる行事と負担軽減を図る行事を考えていくとよい。
- セーフティウォッチャーとして見守っているが、多くの子供が元気に挨拶をしてくれる。ごくわずかに挨拶が返ってこない場合もある。

短い時間ではありましたが、貴重な意見をいただきました。学校評価でいただいたご意見も踏まえ、次年度に向けて改善を進め、教職員が一丸となって学校教育目標の実現に向けた学校づくりを推進してまいります。今後とも、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。